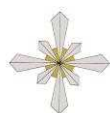


向陽中学校だより<第8号>



# 走れ向陽!

～夢の実現めざして～

<学校目標> 「知性」「品格」「至誠」「体力」を身につけた活力ある生徒  
 <重点目標> 自己の目標達成のため、最後までやり通すことができる

平成28年8月25日(木)  
 <発行者> 校長 箭内仁史  
 〒976-0037  
 相馬市中野字桜町76  
 Tel.35-2348 Fax35-2849

## ～2学期がスタート<実り多い学期に>～

35日の長い夏休みも終わり、今日から第2学期がスタートしました。今年の夏休みは猛暑の日が続きましたが、子ども達は一段とたくましくなり元気な姿を見せてくれました。ご家庭でのご指導に感謝申し上げます。休み中の中体連県大会では、相双の代表として最後まで粘り強いプレーを見せてくれました。ご家庭の方々の声援も会場に響き渡っていました。さらには2年生の〇〇さん、3年生の〇〇君の東北大会出場、野球部の民報杯県大会で21年ぶりの優勝等々、めざましい功績を残しました。また、猛暑の中、早朝から駅伝の練習や常設部の練習、英語弁論大会の練習等にも頑張りました。3年生も進路実現に向け、高校の体験入学、サマースクールや学習会に真剣に取り組みました。PTAの皆様にはお暑い中、段ボール回収、校外補導、相馬市盆踊りでの巡回補導等多方面でお世話になりました。改めて皆様のたくさんのご協力、応援に心より感謝申し上げます。



2学期は職場体験や駅伝、新人戦、向陽祭、3年生の進路選択等大きな行事が目白押しです。生徒の社会性の育成や授業の充実にも一層力を入れていきます。特に、各クラスごとの新聞購読や新刊図書の購入を通して、学校や家庭での新聞や読書を読む機会をもっと増やしていきたいと思えます。相談事等がありましたら、担任、学校にいつでもご連絡ください。2学期も保護者の皆様の一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

### 信 じ 抜 く 力

本日の始業式で、先日終了したりオデジャネイロオリンピックについて話をした一部をご紹介します。

胸を打たれる場面が幾度となくあり、数え切れない人の思いと「夢」の詰まった場所がオリンピックという大舞台であると感じました。しかし、誰でもこの舞台立てる訳ではなく、あと一步のところで涙を飲んだ選手の方が圧倒的に多いでしょう。夢半ばで諦めた人もいるかもしれません。では、出場できた人とそうでない人との違いは、才能、練習量、それとも運でしょうか。私は、「強く信じ抜く力」だと感じました。「夢を信じ抜く力」、「可能性」を信じ抜く力、そして「自分自身」を信じ抜く力。特に今回の日本選手には、失敗してもくじけずあきらめず、くらいつき、信じ抜いた末の勝利する場面、涙する場面がたくさんありました。特にペアやチーム力の団結力の強さが目立ったと思います。皆さんも、胸に秘めた夢があるなら、どうかそれを大切に信じ抜いてください。想い続ければきっと夢は叶います。オリンピックの舞台でキラキラと輝いていた選手たちのように。そして、皆さんが『夢の実現』のために何かをしようと思うなら、大人になるまで待つ必要はありません。『今』から走り始めてください。失敗を恐れず、焦らずに取り組むことです。日常をただただと漠然と過ごすのではなく、将来の大きな夢、目の前の目標をはっきりさせて、自分から決断し他と切磋琢磨しながら、実行する、そんな充実した2学期にぜひしてください。

裏面もご覧ください

1日(木)	相双中体連駅伝大会 教育相談(～2日)	19日(月)	敬老の日
5日(月)	3年いじめ防止弁護士出前授業3年	22日(木)	秋分の日
7日(水)	2年職場体験(～8日)	24日(土)	相P連研究大会新地大会
8日(木)	3年将来設計についての出前講座	25日(日)	PTA資源物回収
14日(水)	防災訓練	27日(火)	相双中体連新人大会(～28日)
15日(木)	交通教室		3年実力テスト
		29日(木)	3年職業講話



## 〔8,9月〕学校経営の重点

～「夏に鍛えた」成果を生かし、「充実の2学期」への好スタートを～

8月の学校生活目標「自律的で心身ともに健康な夏休み」

☆実践の重点<自分の生活に適した生活のリズムづくり、社会の一員である自覚>

・必要に応じた個別指導 ・部活動での指導 ・家庭学習の習慣化

※問題傾向をもつ生徒の訪問や連絡を取り合う指導を行う。

9月の学校生活目標「夏休みの生活の反省と規律ある学校生活」

☆実践の重点<時間、きまりを守る意義、協力して学校生活を作り上げる工夫 ☆『いじめアンケート』の実施>

・服装、言葉遣い、持ち物 ・交友関係、家庭環境の変化 ・行事への参加

・授業中の態度 ※生徒一人一人の心身の成長を考慮に入れた指導を行う。

### 1 2学期（授業日数81日）の目標・めあてづくり

⇒1学期の反省を生かし、夏休みの諸活動を自信につなげ、「豊かな実りと充実」の2学期になるようにしっかりとしたスタートを切りたい。

(1) 2学期「どんな学級作り」「どんな生徒の育成」を目指すのか？

○ 学級担任としての考えや願い。→生徒に伝え、話し合う。

○ 教師と生徒が共通認識に立って。→一人一人に実現可能な目標やめあてを作る。

○ 担任としての継続的な声かけ。→どの子にもやる気を喚起する。

(2) 2学期の目標・めあてを生徒自身にじっくり決めさせ、その実現を決意させる。

○ 1学期の反省、夏休みの成果や反省を生かす。

○ 生活面、学習面、運動面、心の面などいくつかの観点を設ける。

○ 特に3年生は、進路を決定する大事な時期。生徒と保護者と十分に話し合い進路目標を明確にする。→最大の努力をさせる。

### 2 「充実の2学期」になるよう具体的な取り組み

(1) 一人一人の生徒に「確かな学力」の定着を → 授業で勝負！

○ 自ら考え、学び合いのある授業、意欲や質問を大切にした授業。

○ 個に応じた指導法の実践、主体的な学習態度の育成。

※少人数学級にただで学力が上がるのか？

→・教員の指導力の向上 ・指導方法の工夫 ・弾力的運用

(教材の研究・開発 ワークシートの工夫 学習形態の工夫 TT、習熟度別、生徒同士の学び合い)

○ 毎日毎日の宿題・課題・自主学習・家庭学習の積み重ね

※「教師自身の指導意欲が、生徒の学習意欲を喚起する。」

○ 新聞の活用

○ 現職教育研究授業の実践

「生徒全員が学ぶ喜びを感じる学習指導の工夫」(＝一人も見捨てない)

～協同的な学びを通して、自己の目標が達成できる指導の在り方～

(2) 生徒の成長に視点を当てた、深く豊かな教育活動の展開を

○ 体験・学習活動(総合的な学習、委員会・生徒会活動、職場体験学習など)

○ 文化・芸術(相新音楽祭、向陽祭など)

○ 運動・スポーツ(相双駅伝大会、相双中体連新人大会など)

○ 豊かな人間性の育成(道徳の時間の充実、朝の読書、部活動、友達関係など)

(3) 生徒指導の充実を

○ いじめアンケートや教育相談の活用

○ 不登校、いじめ、校内暴力のない向陽中を目指して

→目的を持たせて、「居場所づくり」と「絆づくり」

○ 「手を離しても目を離さず、目を離しても心を離さず」

○ SC、SSW、ふれあい広場等との関係機関との更なる連携

(4) 「豊かな実りと充実」を実現させる学習環境作りを → 環境が人をつくる

○ 掃除の徹底、時季に応じた校内の諸掲示、教室内の掲示

○ 教室や特別教室、校舎周辺などの整理整頓

○ 笑い声のある、花が咲き、歌声の響く向陽中

(5) 給食指導、食に関する指導の充実

○ 学期始めの衛生管理の徹底 ○給食指導の徹底、食に関する指導の工夫